



# 取扱説明書

保証書付

**家庭用**

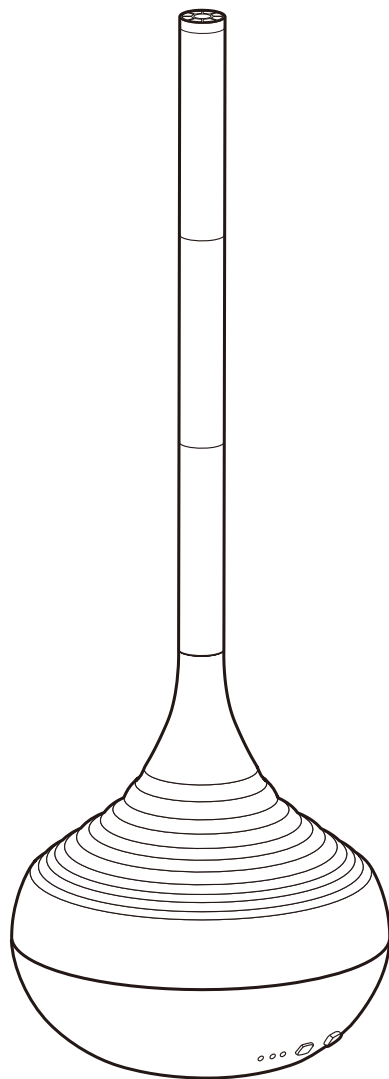
- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途での使用はしないでください。  
思わぬ事故の原因になります。

超音波式加湿器

**MZ-G20 (2.0リットル)**

## も く じ

安全上のご注意	1~4
各部の名称とはたらき	5~6
知っておいていただきたいこと	6
使いかた	7~13
お手入れと保管	14~16
仕 様	17
故障かな?と思ったら	17
点検のお願い	18
アフターサービスについて	18
保証書	裏表紙



この商品は、海外ではご使用になれません。  
FOR USE IN JAPAN ONLY

- このたびは、弊社加湿器をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
- ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- お読みになったあとは、大切に保管してください。

# 安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



## 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。



## 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○記号は禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。



## 警告



禁止

**交流100V以外での使用やコンセント・配線器具の定格を超える使いかたはしない**

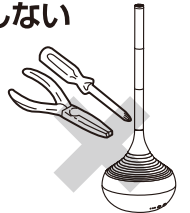
- 延長コードやタコ足配線などで定格を超えると、コンセント部が異常発熱して、発火・火災の原因になります。



分解禁止

**分解や修理、改造をしない**

- 火災・感電・けがの原因になります。  
※修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。



指示に従う

**電源プラグは根元まで確実に差し込む**

- 感電や発熱による火災の原因になります。



禁止

**傷んだ電源コードや電源プラグは使用しない**

**コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない**

- 感電・ショート・発火の原因になります。



指示に従う

**お手入れのときは必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く**

- 感電・けが・故障の原因になります。



ぬれ手禁止

**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**

- 感電・ショート・けがの原因になります。



指示に従う

**包装用ポリ袋はお子さまの手の届かない場所に保管する**

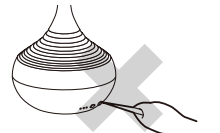
- 誤って顔にかぶったり、巻きついたりして窒息し、死亡の原因になります。



禁止

**吸気口やすき間にピンや針金、金属物などの異物を入れない**

- 感電・けが・故障の原因になります。



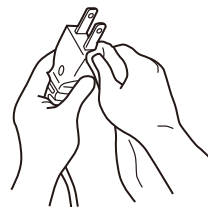
# 警告



## 定期的に電源プラグのほこりを取る 電源プラグにピンやゴミを付着させない

指示に従う

- 刃や刃の取り付け面にピンやゴミが付着したり、ほこりがたまると、感電・ショート・発火の原因になります。また、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグのお手入れは、乾いた布でふいてください。



## 本体に異常・故障・破損があったり、電源プラグや電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する

指示に従う

- 火災・感電・けがの原因になります。異常・故障例
- 18ページの「こんな症状はありませんか?」を参照し、異常がある場合はすぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。



水ぬれ禁止

## 本体を水につけたり、水をかけたり、丸洗いをしない

- 故障・感電・ショート・火災の原因になります。



禁止

## お手入りに塩素系・酸性タイプの洗剤を使用しない

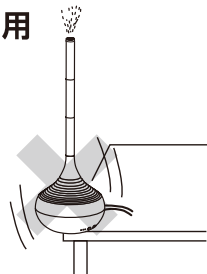
- 有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。



禁止

## 不安定な場所で使用しない

- 転倒や落下して水がこぼれたり、破損・故障・けがをする原因になります。



禁止

## 電源コードを傷つけたり、破損させたり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて使用したりしない

- また、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し火災・感電の原因になります。※結束バンドは必ずはずす。



禁止

## お子さまや取り扱いに不慣れな方だけで使用しない 幼児の手の届く場所で使用したり、保管しない

- 感電・けがの原因になります。



禁止

## 電気製品や精密機器(パソコン)などの近くでは使用しない

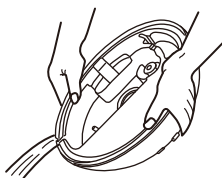
- 電気製品が加湿によって湿気をおびたり、転倒によって浸水すると感電・故障・発火の原因になります。



指示に従う

## 排水するときは、ふた・水タンク・抗菌カートリッジをはずし、排水方向に従って排水する

- 排水方向を間違えると、本体内部の電気部品に水が入り、火災・感電・ショートの原因になります。



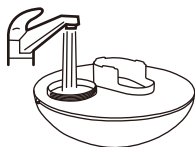
# 警告



## 水タンクの水は毎日新しく入れ替える

指示に従う

- 水を入れ替えずに長期間使用すると、カビや雑菌が繁殖して異臭がしたり、健康を害する原因になります。



## 吹出口から噴霧される霧は吸入しない

禁止

- 健康を害する原因になります。



## 水タンクやふたをはずしたまま使用しない

禁止

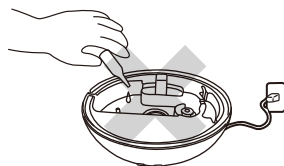
- 誤って霧化部(振動子)を触って、感電やけがの原因になります。また、噴霧が広がり本体の故障や床をぬらす原因になります。
- ※ ご使用中に霧化部(振動子)や水柱に触ると痛みを感じる場合があります。



## アロマオイルは、アロマオイルケース以外に入れたり、付着させない

禁止

- ひび割れ、破損の原因になります。



# 注意



## 電源プラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜かない

禁止

- 感電やショートして発火することがあります。
- ※ 必ず電源プラグを持って引き抜いてください。



## 外出するときなど使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いて排水しておく

プラグを抜く

- 絶縁劣化による感電や漏電により、火災・やけど・けがの原因になります。
- 水漏れ・カビ・異臭の原因になります。



## 水タンク内にお湯(40℃以上)や氷水、化学薬品、汚れた水、芳香剤、アロマオイルを入れて使用しない

禁止

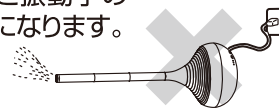
- 故障の原因になります。
- ※ 必ず水道水を使用してください。



## 水のないときや本体を倒した状態では絶対に使用しない

禁止

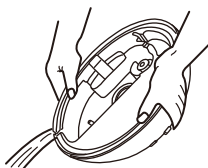
- 故障の原因になります。また、水のない状態で運転をすると振動子の故障の原因になります。



## 寒冷地などで凍結のおそれのあるときは、水タンク・水槽・霧化部の水を捨てる

指示に従う

- 水タンクが割れたり、故障の原因になります。



## この加湿器は室内(居住空間)の加湿専用です。これ以外の目的では使用しない

禁止

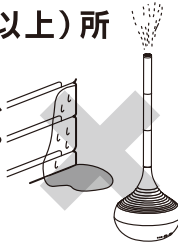
- 漏電・火災・感電・やけど・故障の原因になります。

# 注意



**湿度の高い(70%以上)所  
では使用しない**

- 家具や床を湿らせたり、ぬらす原因になります。



**吹出口や吸気口をふさがない**

- 紙や布などでふさぐと変形や故障の原因になります。



**本体の上に腰をかけたり、足をのせたりしない**

- 水がこぼれたり、破損の原因になります。



**使用中や水タンク・水槽・霧化部に  
水が入った状態で持ち運んだり、  
傾けたり、動かしたりしない**

- 水が漏れて床などがぬれる原因になります。



**水槽や霧化部への直接給水はしない**

- 送風口から本体内部に水が入ってショート・感電・故障の原因になります。
- 水位が規定以上になり、水漏れや噴霧が出なくなったり、故障の原因になります。



**移動や持ち運ぶときは運転を停止し、  
両手で本体をしっかり持っておこなう**

指示に従う

- 落下すると破損・故障・けがの原因になります。
- また、引きずって移動などをおこなうと置や床などに傷をつける原因になります。



**お手入れはこまめにおこなう**

指示に従う

- 霧化部(振動子)に水アカなどが付着したまま使用を続けると、加湿量の低下や故障の原因になります。



**水タンクの取っ手を持って振り  
回さない**

禁止

- 取っ手が破損し、けがの原因になります。



**本製品は一般家庭用です  
絶対に業務用に使用しない**

禁止

- 本製品に無理な負担がかかり、火災・事故・故障の原因になります。



**本製品は屋内専用です  
絶対に屋外で使用しない**

禁止

- 屋内での使用に基づき設計されています。
- 屋外で使用すると、故障・漏電・火災・事故の原因になります。



**掃除用・整髪用・殺虫剤などの  
スプレーを吹きつけない**

禁止

- 変質・破損などにより、けが・事故の原因になります。



**直射日光が当たる場所や暖房機器  
の近くなど温度が高くなる場所に  
本体を設置しない**

禁止

- 水漏れや噴霧しなくなる原因になります。
- プラスチック部分が変形・変質することがあります。



**使用する環境に注意する**

指示に従う

- 使用する環境により、本体や周辺(床や置台)に水滴が付着したり、ぬれる原因になります。

- 室内の温度が低い状態や湿度が高い状態
- 空調機器などの風向き状態
- 室内が無風状態で噴霧が拡散されない状態
- 加湿量を強で運転しているとき
- 狭い場所や閉め切った場所

水滴が付着したり、床などがぬれるときは7ページの「使用する環境に注意」を参照して注意しながら使用してください。



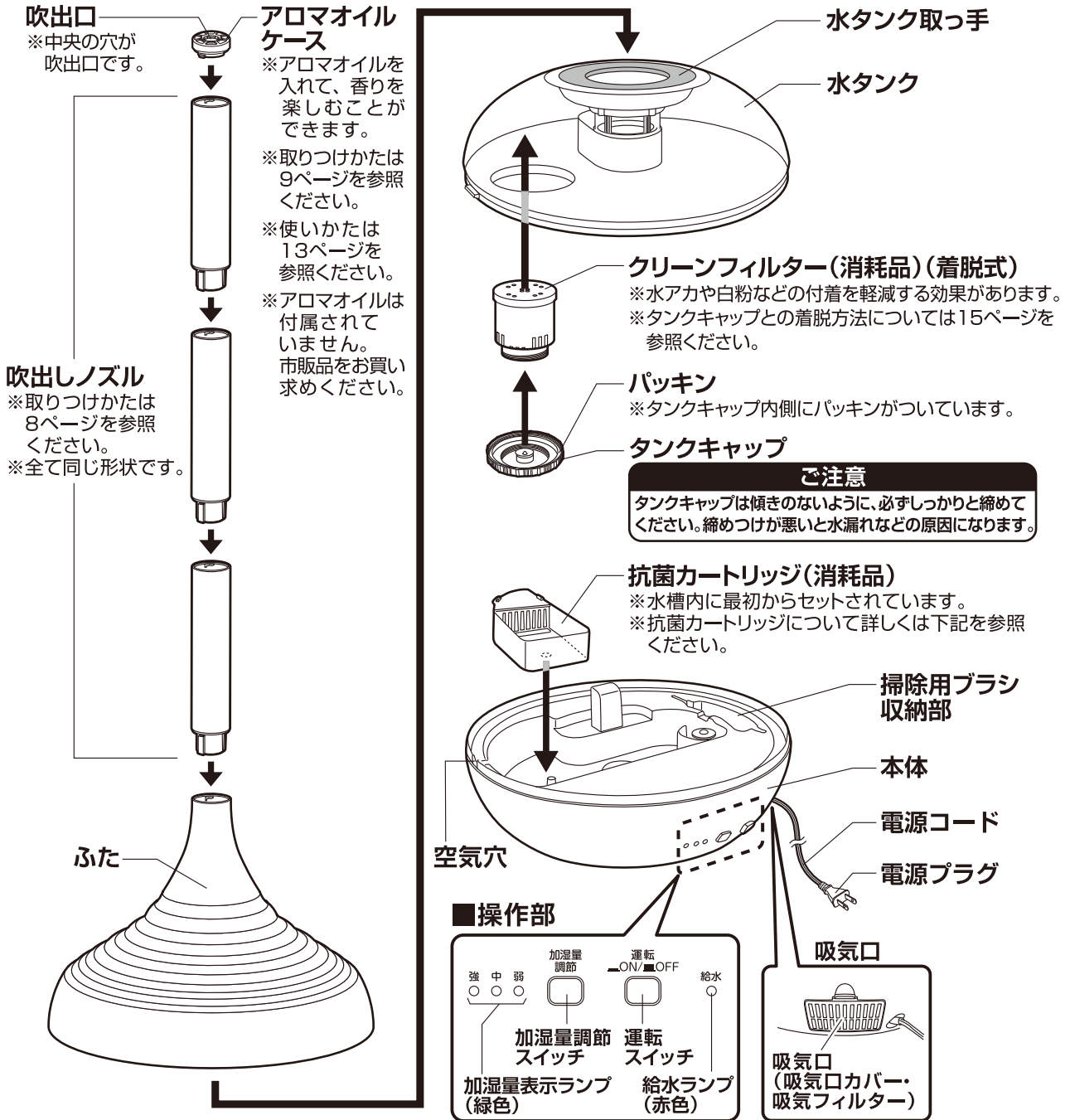
**お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しない**

禁止

- 製品の変質や劣化による破損・故障・けが・事故の原因になる場合があります。
- ※お手入れは水またはぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤を含ませたふきんで汚れをふき取ってください。



# 各部の名称とはたらき



## ■ 抗菌カートリッジについて

※水槽内にたまった水の雑菌繁殖を抑える効果があります。

■試験依頼先：(一財)日本食品分析センター

■試験方法：菌液に抗菌セラミックボールを添加した試料液を、20℃で振とうしながら保存し、24時間後に試料液中の生菌数を測定。

■抗菌の方法：抗菌カートリッジ内に抗菌セラミックボールが入っています。抗菌セラミックボールにより、雑菌の繁殖を抑制します。

■対象：抗菌カートリッジを配置した水槽内の水。

■試験結果：24時間で99%以上抑制。

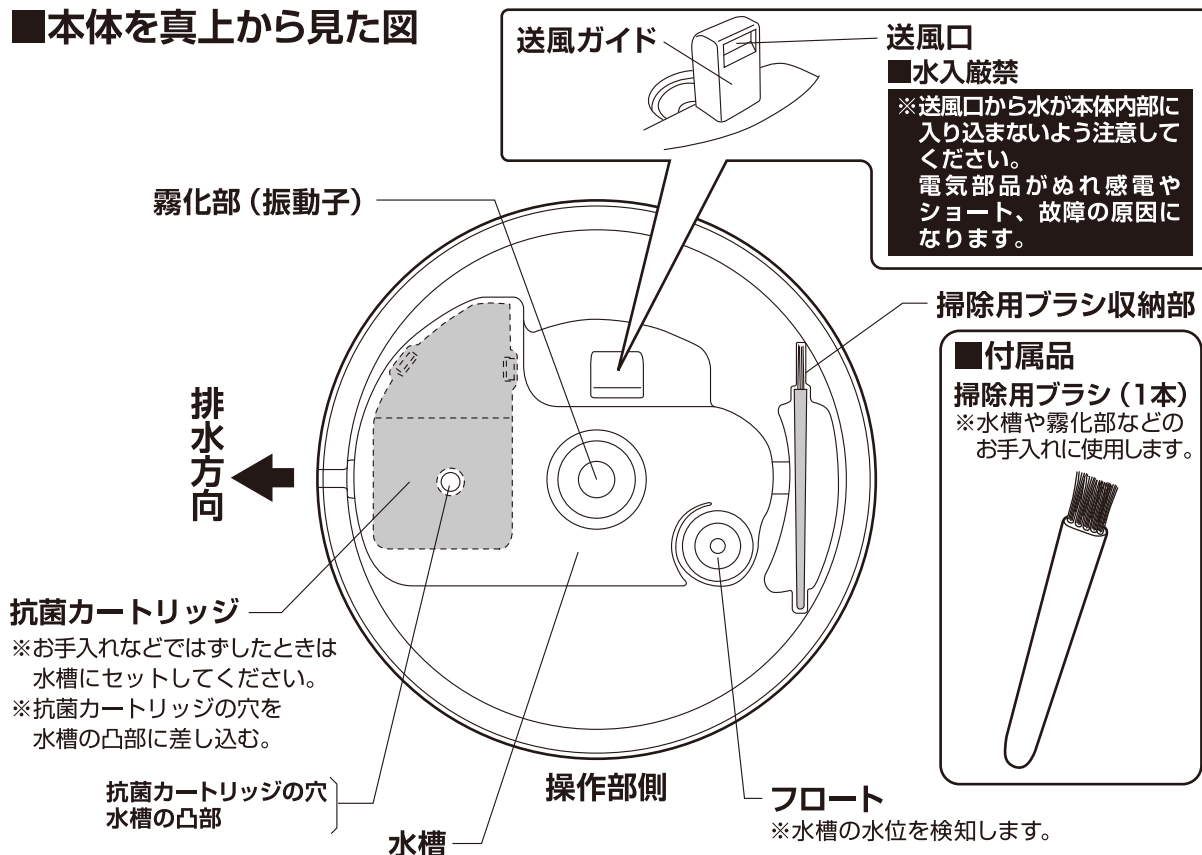
試験成績書番号 第16088342001-0101号

※抗菌カートリッジに入っている抗菌セラミックボールが水槽の水につかることで、水槽内にたまった水の雑菌繁殖を抑える効果はありますが、完全に菌を死滅させるものではありません。

より清潔にお使いいただくためにも、水タンクや水槽の水は毎日入れ替えてご使用ください。

# 各部の名称とはたらき つづき

## ■本体を真上から見た図



## 知っておいていただきたいこと

### ■加湿器の周辺にできる白粉について

※加湿器から発生する霧が蒸発すると加湿器の周辺に白い粒状のものが残ることがあります。これは、水道水に含まれているカルシウムなどのミネラル分が固形化したもので、有害なものではありませんが、加湿器周辺で電気製品や精密機器 (パソコン) などを使用されたり、家具などの近くで使用すると霧が蒸発したあと白粉が生じ、電気製品や精密機器の動作不良や故障、家具などを傷める原因になる場合があります。白粉が付着した場合は、すぐに水に浸した柔らかいふきんをよくしぼってふき取ってください。

### ■霧化部 (振動子) 周辺の付着物 (水アカ) について

※加湿器を使用していると、霧化部の周辺に変色した付着物や白い付着物がつくことがあります。これは、水道水に含まれているカルシウムなどのミネラル分が引き寄せられ水アカとなって付着したものです。水アカは放置すると固着して取れなくなり、故障や水漏れの原因となりますので、必ずこまめに付属の掃除用ブラシ、または水に浸した柔らかいふきんをよくしぼってお手入れしてください。

### ■炎色反応について

※燃焼器具のある室内で加湿器をご使用になると、炎の色が赤味をおびてくることがあります。これは、水道水に含まれているカルシウムなどのミネラル分が反応 (炎色反応) したためで異常ではありません。

# 使 い か た

## ご使用上の注意

### ■正しい置き場所

吹出口から上方1m以内に噴霧をさえぎるものがなく、壁、家具などの変形、シミ防止のため、周囲との距離が十分に確保できる、安定した水平な場所に置いてご使用ください。

### ■良くない置き場所

#### 特に注意していただきたい置き場所

#### ■本体の設置場所に注意

- 直射日光が当たる場所や暖房機器の近くなど温度が高くなる場所に本体を設置しない
- 水タンクを本体にセットしたあと水タンクを何度も持ち上げない

熱で水タンク内の空気が膨張し水タンクから水が押し出されたり、水タンクを何度も持ち上げるにより、必要以上に水が流れ出て水槽内の水位が上がり、水漏れや噴霧が少なくなったり、出なくなる原因になります。

このような場合は、水タンクを取りはずし水槽内の水を一度排水してから運転してください。

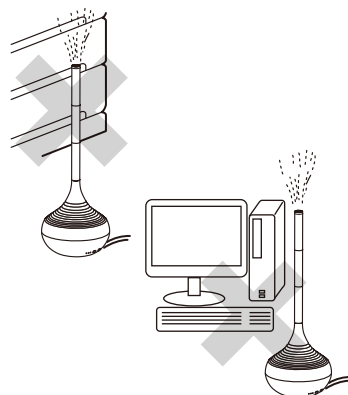
- 吹出口から出る噴霧が直接、家具、壁、カーテン、天井や紙類（ふすま・書物・ポスターなど）にあたる所

家具などにシミや変形が起きたり、故障の原因になることがあります。また、白粉が家具などに付着することがあります。

（特に高級家具などがある場所でご使用の場合はご注意ください）

- 傾いた場所・不安定な場所・電気製品や精密機器（パソコン）などの近く

電気製品が加湿によって湿気をおびたり、転倒すると水がこぼれ、感電・故障などの原因になります。また、静電気により、白粉が電気製品や精密機器（パソコン）に付着して故障の原因になります。



### ■使用する環境に注意

使用する環境により、本体や周辺（床や置台）に水滴が付着したり、ぬれることがあります。

- 室内の温度が低い状態や湿度が高い状態
- 空調機器などの風向き状態
- 室内が無風状態で噴霧が拡散されない状態
- 狭い場所や閉め切った場所
- 加湿量を「強」で運転しているとき

水滴が付着したり、床などがぬれるときは、下記のように使用してください。

- 加湿量を「弱」にする
- 空調機器などの風向きをかえる
- 空気中で噴霧が気化するようにテーブルの上など床から離して本体を設置する

※特に就寝時や近くから離れる場合は注意してください。



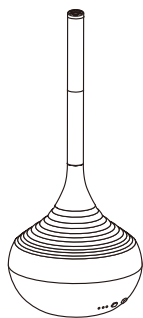
# 使いかたつき

## 1 吹出しノズルとアロマオイルケースの取り付け、取りはずし

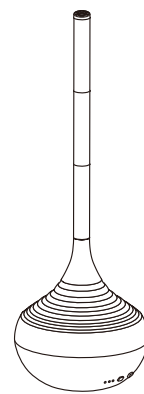
■本製品は、吹出しノズルを取りつけることで高さ調節することができます。  
お好みに合わせてご使用ください。



吹出しノズル1本



吹出しノズル2本



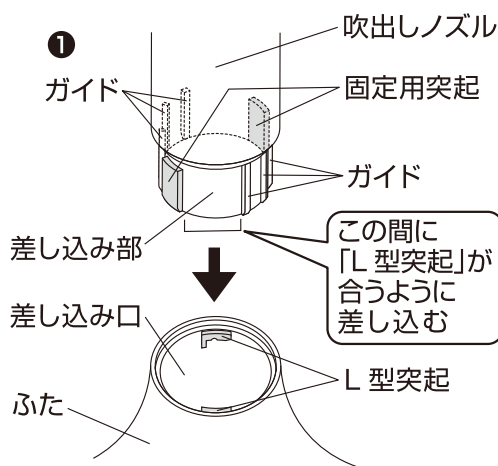
吹出しノズル3本

### ■吹出しノズルの取り付けかた

①吹出しノズルの差し込み部をふたの差し込み口に、奥まで差し込みます。

#### — 吹出しノズルを差し込むときの注意 —

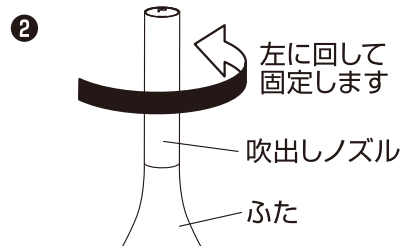
※吹出しノズルの「固定用突起」や「ガイド」が、ふたの「L型突起」にあたらぬ位置で差し込んでください。



②ふたを手で押さえ、吹出しノズルを左回し(反時計回転)させて固定します。

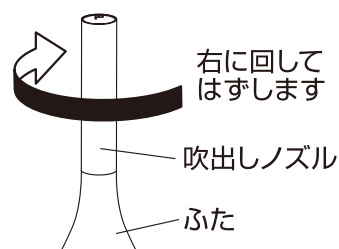
※一度軽く止まりますがさらに左回し(反時計回転)して、「固定用突起」と「L型突起」をかみ合わせ固定してください。

※残りの吹出しノズルを取りつける場合も、同じ要領で取り付けます。



### ■吹出しノズルの取りはずしかた

●ふたを手で押さえる、または下側の吹出しノズルを手で持って、はずす側の吹出しノズルを右回し(時計回転)させてはずします。



# 使 か た つ ぎ

## 1 吹出しノズルとアロマオイルケースの取り付け、取りはずし つづき

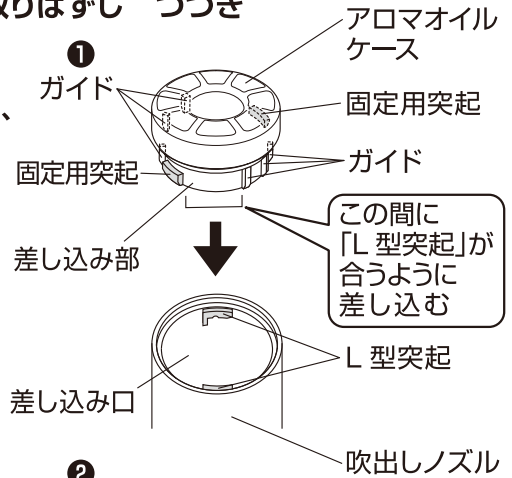
### ■アロマオイルケースの取り付けかた

※アロマオイルケースは吹出口と兼用していますので、アロマオイルを使用しなくてもアロマオイルケースは必ず吹出しノズルに取りつけてご使用ください。

- ①アロマオイルケースの差し込み部を吹出しノズルの差し込み口に、奥まで差し込みます。

#### アロマオイルケースを差し込むときの注意

※アロマオイルケースの「固定用突起」や「ガイド」が、吹出しノズルの「L型突起」にあたらぬ位置で差し込んでください。

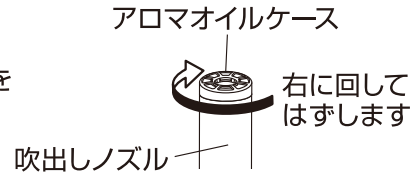


- ②吹出しノズルを手で持って、アロマオイルケースを左回し(反時計回転)させて固定します。

※一度軽く止まりますがさらに左回し(反時計回転)して、「固定用突起」と「L型突起」をかみ合わせ固定してください。

### ■アロマオイルケースの取りはずしかた

- 吹出しノズルを手で持って、アロマオイルケースを右回し(時計回転)させてはずします。



## 2 水タンクに水を入れる

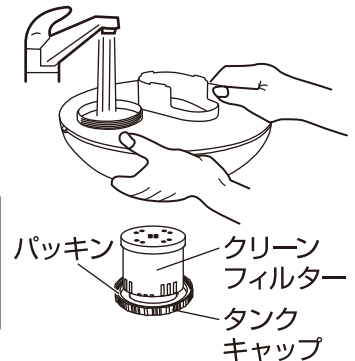
- 本体から水タンクを取りはずし、タンクキャップをはずして水タンクの中に水道水を入れます。
- 水を入れたら、タンクキャップをしっかり締めます。

### ⚠ 注意



水タンク内にお湯(40℃以上)や氷水、化学薬品、汚れた水、芳香剤、アロマオイルを入れて使用しない

禁止 ●故障の原因になります。※必ず水道水を使用してください。



### ご使用上の注意

※タンクキャップを締めつける前にタンクキャップの内側にパッキンがついていることを確認してください。

パッキンが取り付けられていないと水漏れの原因になります。

※タンクキャップは傾きのないように、必ずしっかりと締めてください。

タンクキャップを締めつけたあとに、タンクキャップを下側にして水タンクを2~3回軽く振り、水タンクから水漏れがないか必ず確認をしてから本体にセットしてください。

タンクキャップの締めつけがゆるかったり、傾いて締めつけられたりしていると、水タンクから水漏れすることがあります。

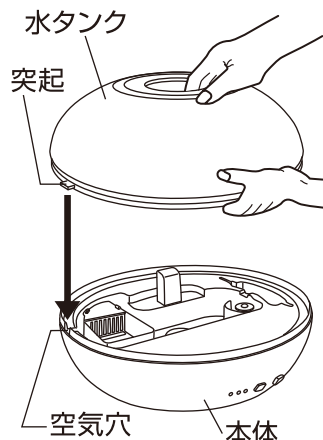
※水タンク・水槽・霧化部に異物(ヘアピン・マッチ棒・クリップなど)を入れないでください。故障の原因になります。

※水タンクの取り扱いには丁寧におこなってください。給水や本体へのセット、またはお手入れのときに落下させたり、衝撃を与えると破損や故障の原因になります。

# 使 い か た つ ぎ

## 3 水タンクをセットする

- 水タンクの取っ手と底部を持ち両手で水タンクを支え、水タンクの突起と本体の空気穴を合わせ、ゆっくりとセットします。
- このとき水タンク内の水が、水槽や霧化部に流れ込んでいるかを一度水タンクを持ち上げ確認します。



### 警告



#### 水タンクやふたをはずしたまま使用しない

- 誤って霧化部(振動子)を触って、感電やけがの原因になります。また、噴霧が広がり本体の故障や床をぬらす原因になります。※ご使用中に霧化部(振動子)や水柱に触ると痛みを感じることがあります。

### ご使用上の注意

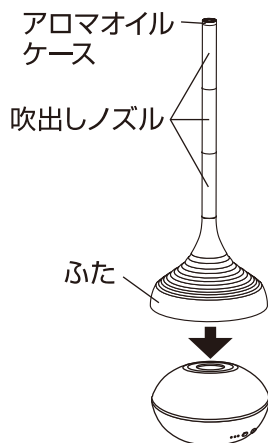
- ※ 水槽・霧化部への直接給水はしないでください。
- ※ 水タンクが正しくセットされていないとすき間などから噴霧が漏れ、水滴となって流れ出し床などをぬらしたり、故障の原因になります。
- ※ 水タンクを本体にセットしたあと何度も持ち上げると、水タンクから必要以上に水が流れ出て水槽の水位が上がり、水漏れや噴霧が少なくなったり、出なくなる原因になります。このような場合は、水タンクを取りはずし水槽内の水を一度排水してから運転してください。
- ※ 水の入った水タンクを本体にセットしたままや、水槽や霧化部に水が入っている状態で本体を持ち運ばないでください。移動のとき水タンクから必要以上に水が流れ出て水槽の水位が上がり、水が漏れて衣服や床をぬらしたり、噴霧が少なくなったり、出なくなる場合があります。本体を持ち運ぶときは、必ず水タンクをはずし水槽や霧化部の水を排水してから持ち運んでください。

## 4 ふたをかぶせる

- 吹き出しノズルとアロマオイルケースを取りつけたふたを、水タンクの上に確実にかぶせます。

### ご使用上の注意

- ※ 水タンクが正しくセットされていないと、ふたと本体の間にすき間ができてうまくかぶせることができません。
- ※ ふたと本体にすき間があると噴霧が漏れ、水滴となって流れ出し床などをぬらしたり、故障の原因になります。
- ※ ふたはどの方向でもかぶせることができます。

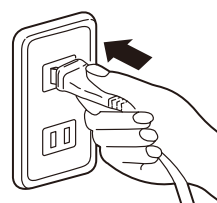


## 5 電源コードの結束バンドを必ずはずし、電源プラグをコンセントに差し込む

- 運転スイッチが「OFF」になっているのを確認し、電源プラグを根元まで確実にコンセントに差し込みます。

### ご使用上の注意

- ※ 電源コードをたばねたまま使用しないでください。
- ※ 水のないときや本体を倒した状態では絶対に通電しないでください。霧化部(振動子)などの故障の原因になります。



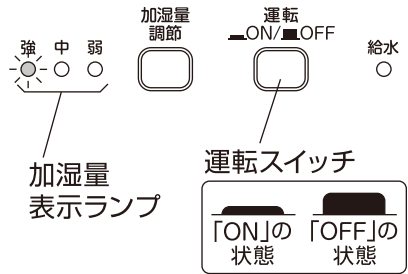
# 使 か た つ き

## 6 運転する

- 運転スイッチを押して「ON」にすると、加湿量表示ランプ「強」（緑色）が点灯して「強」で加湿運転を開始します。

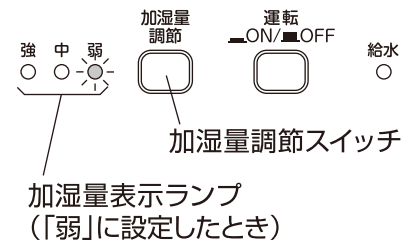
### ご使用上の注意

- ※ 水タンクを本体にセットしたあと、水槽に水が十分たまるまで（約1分間程度）は運転スイッチを「ON」にしないでください。  
霧化部（振動子）などの故障の原因になります。



## ■ 加湿量を調節するには

- 運転中に加湿量調節スイッチを押すと、加湿量が下図のように順送りでかわります。  
加湿量表示ランプを見ながら調節してください。



### ご使用上の注意

- ※ 使用する環境により、本体や周辺（床や置台）に水滴が付着したり、ぬれることがあります。  
水滴が付着したり、床などがぬれるときは、7ページの「使用する環境に注意」を参照して注意しながら使用してください。
- ※ 本体の設置場所により、水漏れや家具などにシミや変形ができたり、電気製品などが故障することがあります。  
7ページの「特に注意していただきたい置き場所」を参照して、置き場所に注意して使用してください。
- ※ 加湿量を「弱」で運転したとき、室内の温度や湿度の状況により、噴霧が見えにくい場合があります。

## ■ 給水ランプ（赤色）が点灯した場合

- 水タンクの水が無くなると、給水ランプが点灯して自動的に加湿運転を停止します。
- 加湿運転が停止したら、運転スイッチを「OFF」にして電源を切ってください。
- 連続して加湿運転をする場合は、水タンクに水を給水して運転を再開してください。



- ※ 給水時に運転スイッチを「OFF」にして電源を切ったとき、給水ランプ（赤色）が消灯するまでに数秒かかります。

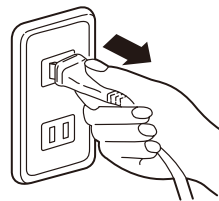
### 連続して運転するときの注意

- ※ 水タンクを本体にセットしたあと、水槽に水が十分たまるまで（約1分間程度）は運転スイッチを「ON」にしないでください。  
霧化部（振動子）などの故障の原因になります。

# 使 い か た っ ぎ

## 7 ご使用後は電源プラグをコンセントから抜く

- 運転スイッチを押して「OFF」にし、加湿量表示ランプが消灯してから電源プラグを抜きます。
  - 水アカの固着防止のため排水をします。
- ※ 霧化部周辺が熱を持つことがありますので、少し時間をおいてから排水してください。



### ⚠ 注意



外出するときなど使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いて排水しておく

プラグを抜く

- 絶縁劣化による感電や漏電により、火災・やけど・けがの原因になります。
- 水漏れ・カビ・異臭の原因になります。



寒冷地などで凍結のおそれのあるときは、水タンク・水槽・霧化部の水を捨てる

指示に従う

- 水タンクが割れたり、故障の原因になります。

### — ご使用上の注意 —

※ 長時間ご使用にならないときは、水タンクと本体に残っている水は必ず排水してください。そのまま放置しておくとお水漏れ、カビや雑菌の繁殖、異臭の原因になります。

## ■ 水タンク内の水が凍結するおそれがあるとき

- 水タンク内の水が凍結するおそれがあるときは、水タンク内の水を捨てます。万一凍結したときは、熱器具や熱湯で溶かしたりしないで、常温で自然に溶かします。

# 使 か た っ ぎ

## アロマオイルケースについて

アロマオイルをご使用のときは、下記のこと十分に注意してください。



**警告**

**アロマオイルは、アロマオイルケース以外に入れたり、付着させない。  
ひび割れ、破損の原因になります。**

※アロマオイルをアロマオイルケース以外（水タンクなど）に入れたり、付着させるとプラスチックが変質して変形したり、ひび割れや破損する原因になります。

※アロマオイルが水槽内に入ってしまった場合は、すぐに運転を停止し、一度水を排水してアロマオイルが残らないようお手入れをしてください。

### ご使用上の注意

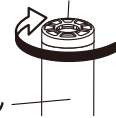
※アロマオイルの中には通経作用のあるものがありますので、妊娠中の方がご使用される場合は、特にご注意ください。

※アロマオイルをご使用のときは、必ずご使用されるアロマオイルの取扱説明書などの注意書きをよくお読みの上、ご使用ください。

## 1 アロマオイルケースを取りはずす

- 吹出しノズルを手で持って、アロマオイルケースを右回し（時計回転）させてはずします。

アロマオイルケース



右に回して  
はずします

吹出しノズル

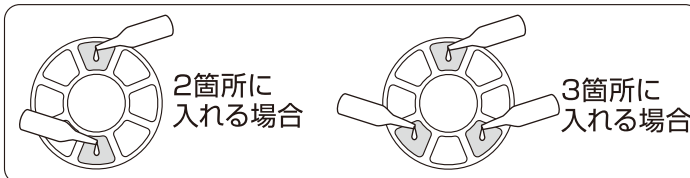
### ご使用上の注意

※アロマオイルを入れるときは、必ず吹出しノズルからアロマオイルケースを取りはずして入れてください。

取りつけたままアロマオイルを入れると、アロマオイルが水槽内に入ったり、ふたや吹出しノズルに付着してプラスチックが変質したり、ひび割れや破損の原因になります。

## 2 アロマオイルをアロマオイルケースに入れる

- アロマオイルをアロマオイルケースの滴下口に2～3滴程度を目安に入れます。
- アロマオイルを入れるときは、下図のように2～3箇所の滴下口に1滴ずつ分散して入れます。

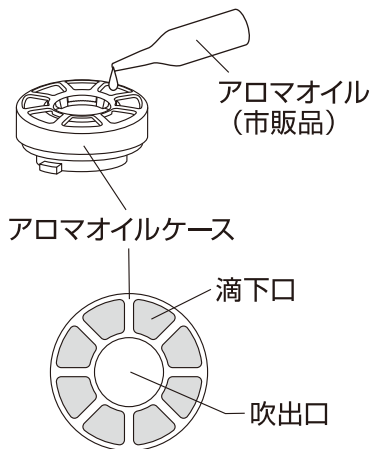


2箇所に  
入れる場合

3箇所に  
入れる場合

※アロマオイルは入れ過ぎないように注意してください。

※アロマオイルは、市販品をお買い求めください。



アロマオイル  
(市販品)

アロマオイルケース

滴下口

吹出口

## 3 アロマオイルケースを取りつける

- アロマオイルケースを吹出しノズルに差し込み、吹出しノズルを手で持って、アロマオイルケースを左回し（反時計回転）させて固定します。

詳しくは9ページの「アロマオイルケースの取り付けかた」を参照ください。

アロマオイルケース



左に回して  
固定します

吹出しノズル

# お手入れと保管



■お手入れや移動のときは運転を停止し、電源プラグを抜いてからおこないます。水タンクの水は捨て、カビや雑菌の繁殖や異臭防止のため、下記の要領に従ってお手入れをおこないます。

※霧化部周辺が熱を持つことがありますので、電源プラグを抜いて少し時間をおいてからお手入れをおこなってください。

## 警告

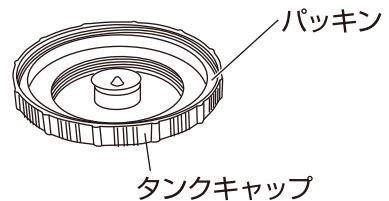
<p> <b>お手入れのときは必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く</b> 指示に従う ●感電・けが・故障の原因になります。</p>	<p> <b>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</b> ぬれ手禁止 ●感電・ショート・けがの原因になります。</p>
<p> <b>お手入れに塩素系・酸性タイプの洗剤を使用しない</b> 禁止 ●有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。</p>	<p> <b>本体を水につけたり、水をかけたり、丸洗いをしない</b> 水ぬれ禁止 ●故障・感電・ショート・火災の原因になります。</p> 

## 注意

<p> <b>お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しない</b> 禁止 ●製品の変質や劣化による破損・故障・けが・事故の原因になる場合があります。 ※お手入れは水またはぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤を含ませたふきんで汚れをふき取ってください。</p>	<p> <b>掃除用・整髪用・殺虫剤などのスプレーを吹きつけない</b> 禁止 ●変質・破損などにより、けが・事故の原因になります。</p>
--	---

## ■水タンク（毎回）

- タンクキャップをはずし、水タンク内に水を半分くらい入れ、タンクキャップをしっかり締めて水タンクを軽く振り、水を排水します。（2～3回繰り返してください）
- お手入れのあとは外側の水気をきれいにふき取ります。



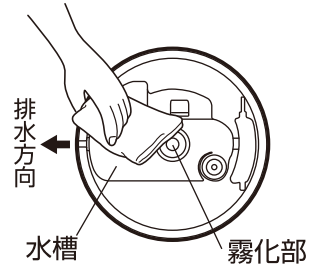
### ご使用上の注意

- ※タンクキャップのパッキンがはずれたときは、元どおりに取りつけてください。（水漏れの原因）
- ※ご使用後や給水時に水タンクを持ち上げたとき、水タンク底面についた水滴が滴下することがあります。
- 水タンクを持ち上げるときや持ち運ぶときは床などをぬらすおそれがありますのでご注意ください。

# お手入れと保管 つづき

## ■水槽・霧化部（1週間に1回以上）

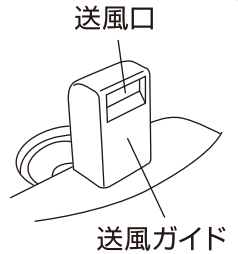
- 水タンクと抗菌カートリッジをはずして、本体に指示してあります排水方向に本体を傾け排水します。
- 付属の掃除用ブラシ、または水に浸した柔らかいふきんをよくしぼって水槽や霧化部の水アカや汚れを取ります。



**水アカは放置すると固着して取れなくなります。  
必ずこまめにお手入れをしてください。**

### ご使用上の注意

- ※お手入れ中は水槽や霧化部に水をいっぱい入れないでください。
- ※霧化部のお手入れは付属の掃除用ブラシ、または水に浸した柔らかいふきんをよくしぼってお手入れしてください。金属ブラシなどのかたいもので霧化部の表面をこすらないでください。傷がつき故障や腐食の原因になります。
- ※お手入れ中や排水時などは、送風口から水が本体内部に入り込まないように注意してください。電気部品がぬれ故障の原因になります。



- フロートの回りのゴミは取り除きます。
- ※フロートの回りにゴミなどが付着するとフロートが正常に動作しない場合があります。

### ワンポイントアドバイス

#### ■霧化部の水アカがお手入れしてもきれいにならない場合

酢またはレモン水25mL（大さじ約2杯）を混ぜた水（1L）を水タンクに入れ、約15分運転してからお手入れをしてください。

※霧化部周辺が熱を持つことがありますので、お手入れは少し時間をおいてからおこなってください。

※タンクキャップは、クリーンフィルターを取りはずしてから水タンクに取りつけてください。

## ■クリーンフィルター（1週間に1回以上）

- 水で洗い流しながらクリーンフィルターを数回振って内部の汚れを落としたあと、表面の汚れを柔らかいふきんでふき取り、よく乾燥させます。

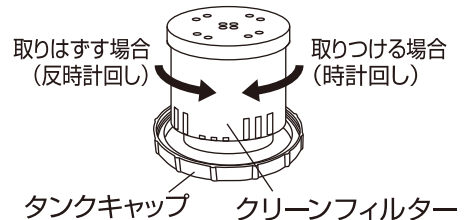
※クリーンフィルターは水道水に含まれるカルシウムなどのミネラル分を吸着し、水アカや白粉などの付着を軽減する効果があります。

### ■クリーンフィルターの交換時期

クリーンフィルターは消耗品です。

交換時期の目安は、1日約8時間の運転で約半年です。

（クリーンフィルター、タンクキャップの着脱）  
タンクキャップを持ってクリーンフィルターを下図のように回します。



## ■抗菌カートリッジ（1週間に1回以上）

- 水で洗い流しながら抗菌カートリッジを数回振って内部の汚れを落としたあと、表面の汚れを柔らかいふきんでふき取り、よく乾燥させます。

※抗菌カートリッジは水槽内にたまった水の雑菌繁殖を抑える効果があります。

### ■抗菌カートリッジの交換時期

抗菌カートリッジは消耗品です。

交換時期の目安は、1日約8時間の運転で約半年です。





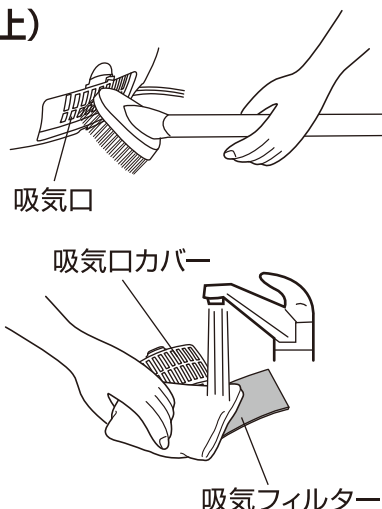
# お手入れと保管 つづき

## ■ふた・吹出しノズル・アロマオイルケース (1週間に1回以上)

- 吹出しノズル・アロマオイルケースはふたから取りはずしてお手入れしてください。
- ※取りはずしかたは8～9ページの「吹出しノズルとアロマオイルケースの取り付け、取りはずし」を参照して取りはずしてください。
- 水またはぬるま湯に浸した柔らかいふきんをよくしぼって汚れをふき取ります。  
落ちにくい汚れは、薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかいふきんで汚れをふき取り、さらに乾いた柔らかいふきんで洗剤分が残らないようきれいにふき取ります。
- ふたは内側もお手入れをしてください。

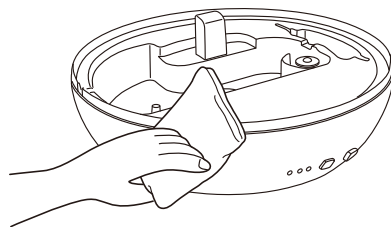
## ■吸気口・吸気フィルター・吸気口カバー (1か月に2回以上)

- 吸気口カバーを取りはずし、吸気口のほこりを掃除機のソフトブラシなどで吸い取ります。
  - 吸気フィルターは目詰まりすると故障の原因になりますので次の要領でお手入れして、必ず元どおりに取り付けます。
  - ①吸気口カバーをはずし、吸気フィルターを取り出します。
  - ②吸気フィルターは軽くはたいてほこりを落とし、吸気口カバーは水洗いします。吸気フィルターの汚れが特にひどいときは水洗いをして十分乾かします。
  - ③お手入れのあとは元どおりに取り付けます。
- ※吸気フィルター・吸気口カバーなしで絶対に使用しない。  
故障の原因になります。



## ■本体

- 水またはぬるま湯に浸した柔らかいふきんをよくしぼって汚れをふき取ります。  
落ちにくい汚れは、薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかいふきんで汚れをふき取り、さらに乾いた柔らかいふきんで洗剤分が残らないようきれいにふき取ります。
- ※本体の丸洗いは絶対におこなわないでください。
- ※お手入れのあとは、水分をきれいにふき取ってください。抗菌カートリッジ・クリーンフィルター・水タンク・ふた・吹出しノズル・アロマオイルケースが正しく取り付けられていることを確認してから使用します。



## ■保 管

- お手入れしたあとよく乾燥させ、包装ケースに納めるかポリ袋をかぶせ、直射日光や湿気を避けて保管します。(湿ったまま保管するとカビの発生や異臭・故障の原因になります)

# 仕 様

電 源	交流100V 50-60Hz
消 費 電 力	22W
製 品 寸 法(約)	幅:250mm × 奥行:250mm × 高さ:710mm ※2 (吹出しノズル2本取り付け時 高さ:567mm) (吹出しノズル1本取り付け時 高さ:424mm)
製 品 質 量(約)	1.6kg
コ ー ド 長(約)	1.5m
水 タ ン ク 容 量(約)	2.0L
加 湿 量(目安)※1	「強」:約200mL/h、「中」:約150mL/h、「弱」:約85mL/h ※2
適 用 床 面 積(目安)※1	木造和室:約3畳 プレハブ洋室:約6畳 ※2、※3
連 続 使 用(加湿)時間(約)※1	10時間 ※2、※3
安 全 装 置	オートOFF機能(給水ランプ点灯時、振動子・ファンの停止) 電流ヒューズ

※製品の仕様や外観などは改善などのため予告なく変更する場合があります。

## ※1 本製品の加湿能力について

加湿量、適用床面積、連続使用(加湿)時間につきましては、室温20℃・湿度40～60%の条件の基で測定した値を表示しています。

製品の加湿能力は部屋の温度・湿度、部屋の構造・材質、使用されている暖房機器などの影響で変化します。

ご使用される条件によっては表示値に対して差異が生じることがあります。

※2 吹出しノズルを3本取り付けたときの値です。

※3 「強」運転時の値です。

## ■ 電気代について

「強」運転時:22W 1時間あたり 約0.6円

※電気代は、電気料金目安単価 27円/kWhを基に算出しています。

# 故障かな?と思ったら

次の点検をおこなってください。

症 状	原 因	処 置
運転(加湿)しない	● 運転スイッチが「OFF」になっていませんか?	● 運転スイッチを押して「ON」にしてください。
	● 電源プラグがコンセントから抜けていませんか?	● 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	● 給水ランプが点灯していませんか?	● 水の量を確認して給水してください。
水漏れする	● 温度が高くなる場所に本体を設置していませんか?	● 直射日光のあたらない場所や暖房機器から離して本体を設置してください。
電源プラグが異常に熱くなる	● コンセントの刃受け部がゆるくなっていませんか?	● コンセントをお調べください。
	● タコ足配線や延長コードを使用していませんか?	● 延長コードやコンセントの定格以内でご使用ください。

# 点検のお願い

安全に長くご愛用いただくために、日頃から点検をおこなってください。

## ★こんな症状はありませんか？

- 運転スイッチを「ON」にしても動かないことがある。
- 電源コードの被覆が破れている。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 電源プラグや電源コードが異常に熱い。
- 本体が異常に熱かったり、こげくさいにおいがする。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 水漏れする。
- その他の異常がある。

- 電源プラグやコンセントにほこりやごみがたまっている。

## ★異常があれば

### ご使用中止!!

故障や事故防止のため、運転スイッチを「OFF」にして、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

ほこりやごみを取り除いてください。

## アフターサービスについて

### ●この製品は保証書がついております。

お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。

### ●保証期間はお買い上げ日より1年です。

保証期間中の修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

保証書の記載内容により修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。

※ただし、クリーンフィルターと抗菌カートリッジは消耗品ですのでクリーンフィルターと抗菌カートリッジのご注文は保証期間内でも有料とさせていただきます。

### ●保証期間経過後の修理（有料）についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

### ●この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。

補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ●消耗品（クリーンフィルター、抗菌カートリッジ）のご購入については、お買い上げの販売店か下記に記載の連絡先までご相談ください。その他サービスパーツについては、お買い上げの販売店にご相談ください。

#### ■消耗品

品名：山善 超音波式加湿器用  
交換用 クリーンフィルター  
品番：MZ-CF20

品名：山善 超音波式加湿器用  
交換用 抗菌カートリッジ  
品番：MZ-KC20

※販売店でご購入のときは、上記内容をお伝えいただけますようお願いいたします。

## ■使いかたやお手入れなどのご相談は下記へ

この製品についてのお取り扱いお手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、右記までご相談ください。

### 「山善 家電お客様サービス係」

ダイヤル  0570-077-078

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。  
受付時間：10：00～17：00（土・日・祝日を除く）

●FAXまたはEメールでのご相談も受け付けております。その際は商品名・品番・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

●FAXでの  0120-680-287

●Eメールでのご相談は [info\\_m@yamazen.co.jp](mailto:info_m@yamazen.co.jp)

### 個人情報の取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせのときは保証書に記載の商品名・品番をご連絡ください。

S-160822